

やってみよう

1 ビブリオバトル P50

2 読書の秘訣カード P51



1 ビブリオバトル

◆ビブリオバトルとは

ビブリオバトルは、ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができる活動です。各学校や図書館、書店等で広く行われています。ぜひ、ビブリオバトルに取り組んでみてください。

1 ビブリオバトル参加者（バトラー）人数の決定

参加者の人数は、開催する時間によって変わってきますが、30分なら3～4人がめやすとなります。

2 選書

選ぶ本は、参加者が読んでおもしろいと思った本になります。

3 発表

順番に一人5分間で本を紹介します。（発表者の発達段階に応じ、発表時間を3分に短縮して行うことも可能です。〈ミニ・ビブリオバトル〉）

4 ディスカッション（質疑応答や感想の交流等）

それぞれの発表の後に、参加者全員（発表参加者と聴講参加者）でその発表に関する質疑応答や感想の交流等を2～3分行います。

5 投票



すべての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか。」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とします。

投票には、挙手や投票用紙に書くなどの方法があります。

◆ビブリオバトルには、次の公式ルールがあります。

公式ルール 〈ビブリオバトル公式ウェブサイトより引用〉

- (1) 発表参加者が読んでおもしろいと思った本を持って集まる。
- (2) 順番に一人5分間で本を紹介する。
- (3) それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- (4) すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

⇒ 事例②（P36）、事例⑥（P42）

2 読書の秘訣カード

◆ 読書の秘訣カード「Life with Reading」とは

読書の秘訣カード「Life with Reading」とは、27の読書実践に関する言葉が定義されているカードのことを言います。それらのカードは、「読書のコツ」「読書の楽しみ方」「創造的読書」という3つのカテゴリーにまとめられており、各カテゴリーには、それぞれ9つの言葉があります。

- ◇ 「読書のコツ」・・・読書がよりよく実践できるコツを表す言葉が紹介されています。（緑色のカード）
 - 「ラフに読む」「自分なりの書き込み」「好きな読み方」「本との先約」
 - 「自分にとっての価値」「まわりを巻き込む」「本のなかのリンク」
 - 「感覚が近い人」「自分の本棚」
- ◇ 「読書の楽しみ方」・・・生活のなかで読書をより楽しむための方法を示す言葉が紹介されています。（ピンク色のカード）
 - 「本への愛情」「こだわりの発見」「とっておきの場所」「なじみの本屋」
 - 「本の散策」「今日のおとも」「追っかけ読書」「本がきっかけ」
 - 「本のある生活」
- ◇ 「創造的読書」・・・これからの時代における読書のあり方として、「創造的読書」（クリエイティブ・リーディング）の方法がまとめられています。（水色のカード）
 - 「発想の素材」「スタイルの継承」「勇気の源泉」「別の可能性」
 - 「本のデザインから」「考えの型」「つくる人生」「世界の流れ」
 - 「未来のかけら」

◆ 読書の秘訣カード「Life with Reading」の使い方（例）

- 1 3～4人のグループをつくる。
- 2 子どもの実態に合わせ、27の言葉が書いてあるカードの中からテーマを決める。（指導者が決めてもよいし、グループごとに決めてもよい。）
- 3 テーマについて意見交換をする。（自分の読書への思いや経験を他の人と語り合う。）
- 4 グループで話し合ったことを、全体で共有する。（各グループの話した内容を共有することで、新しい気づきにつなげる。）
- 5 自分にふさわしい読書の仕方についてまとめる。

【気付き】

互いに語り合うことで、読書についての新しい手がかりを得ることができるようになります。
また、この発見が、自分の新しい読書活動を見つける手助けにもなります。

【その他の使い方】

- ・カードを見えるところに飾る。（本棚に貼る、机の上に飾る など）
- ・本好きの人に、読書への取組方法について、カードの言葉をヒントに話を聞く。

⇒ 事例②⑦ (P43)